



# 週間情報



No.0420(6月7日休刊)

発行日 令和4年5月31日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 第35全国消防長会警防防災委員会の開催

#### 全国消防長会警防防災委員会

令和4年5月17日(火)、徳島県徳島市(JRホテルクレメント徳島)において、第35回全国消防長会警防防災委員会を開催しました。

会議における議案審議等は次のとおりです。

#### 【議題】

第50回全国消防救助技術大会の審判長及び審判部長の推薦について

#### 【情報交換】

- 1 ウェアラブルカメラの運用等について
- 2 防火貯水槽の維持管理について
- 3 積雪、豪雪環境下での装備について
- 4 電気自動車に関係する火災事案への対応について
- 5 墜落制止用器具の旧規格(フルハーネス・胴ベルト)の活用について
- 6 火災活動後の除染について
- 7 無人航空機操作員の養成について
- 8 山岳救助等に伴う登山ガイド、山の会等との協力体制について
- 9 消火栓の位置情報等の公開について
- 10 消火栓を使用した住民による消火活動について
- 11 消火栓鉄蓋について

#### 【情報提供】

- 1 最近の消防情勢について
- 2 消防研究センターの体制と事業概要について
- 3 消防の広域化、連携・協力の検討における消防力適正配置等調査の活用
- 4 消防通信施設の更新・維持管理、共同化に関する一般財団法人日本消防設備安全センターの取り組みについて
- 5 ISO国際会議等の動向について

#### 【その他】

次期開催地について



【警防防災委員会委員長挨拶】



【警防防災委員会の会議時風景】

## ◆ 第100回全国消防長会技術委員会を開催

### 全国消防長会技術委員会

令和4年5月19日（木）、埼玉県さいたま市（パレスホテル大宮）において、第100回全国消防長会技術委員会を開催しました。

会議における議案等は次のとおりです。

#### 【報告事項】

令和3年度全国消防長会技術委員会事業結果報告について

#### 【議案審議】

- 1 消防車両の調達にかかる実態調査について
- 2 第101回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 3 第102回全国消防長会技術委員会の開催支部について

#### 【情報交換】

- 1 テレドームサービスの終了に伴う音声による災害等の案内について（甘木・朝倉消防本部）
- 2 消防車両等の定期点検整備管理方法について（船橋市消防局）

#### 【情報提供】

- 1 令和4年度導入予定車両「土砂吸引車（仮称）」の増強について（東京消防庁）
- 2 消防庁の取り組みについて（消防庁）
- 3 消防自動車に次世代自動車を用いることへの課題と展望について（一般社団法人日本消防ポンプ協会）
- 4 消防研究センターの体制と事業概要について（消防庁消防研究センター）
- 5 G空間情報とICTを活用した大規模防火対象物の防火安全対策の研究開発・成果報告の概要と今後（一般財団法人日本消防設備安全センター）
- 6 日本消防検定協会の業務紹介（日本消防検定協会）



【技術委員会委員長挨拶】



【技術委員会の会議時全景】

## ◆ 第115回全国消防長会予防委員会を開催

### 全国消防長会予防委員会

令和4年5月19日（木）、千葉県千葉市（ホテルグリーンタワー幕張）において、第115回全国消防長会予防委員会を開催しました。

会議における議案等は次のとおりです。

#### 【議案】

- 1 実態把握及び指導が長期未実施の防火対象物に対する効率的な指導方法について
- 2 予防委員会の開催方法について
- 3 次期開催地について

#### 【情報交換】

- 1 消防用設備等に係る電子部品不足時における指導について
- 2 オンラインによる防火・防災管理講習の取組について

#### 【情報提供】

- 1 社会福祉協議会及び各区役所福祉課と連携した高齢者に対する防火リーフレットの配布について
- 2 大阪市北区ビル火災概要と当局の対応について
- 3 大阪市此花区における倉庫火災について
- 4 電気製品火災を的確に把握するための調査体制の運用開始について
- 5 消防研究センターの体制と事業概要について
- 6 日本消防検定協会の業務紹介（住宅防災警報機の作動状況等に関する調査について）
- 7 一般社団法人日本火災報知機工業会の取組について
- 8 公益財団法人日本防災協会の事業取組状況について
- 9 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 10 令和4年度住宅防火対策推進協議会の事業概要について
- 11 予防技術検定受験準備講習会の実施状況等について  
（一般財団法人消防防災科学センターの事業取組状況について）
- 12 住宅用火災CO警報機検査規程の改定について
- 13 DVD視聴覚教材等による石油機器技術管理講習の開設について
- 14 総務省消防庁からの情報提供  
予防行政（課題と対応）  
総務省消防庁予防課長 白石 暢彦 氏



【予防委員会委員長挨拶】



【予防委員会の会議時全景】

## 消防本部の動き

### 訓練

#### ◆ 解体予定の公共施設を活用した救助訓練を実施

##### 都留市消防本部（山梨）

都留市消防本部では、令和4年5月18日（水）、解体予定の公共施設を活用した救助訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害で倒壊した建物を想定し、進入経路の確保や構造物の破壊などの方法を確認することを目的として行ったものです。

訓練では、各種救助資機材を活用し、ブリーチングやドア開放など、破壊活動の手技を実際の建物で確認しました。

今後も、複雑・多様化する災害への対応強化に努めてまいります。



【切り込み活動の様子】



【掘削活動の様子】

### 研修

#### ◆ 危険物実務研修会を実施

##### 郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和4年5月18日（水）、管内事業所の施設を借用し、危険物実務研修会を実施しました。

この研修会は、危険物施設における災害や流出事故などを未然に防止するため、職員が専門的な知識を習得し効果的な立入検査をすることを目的として、毎年実施しています。

当日は、当消防本部の予防課危険物係の職員が講師となり、約20人の中堅職員が、危険物施設における設備の理解と立入検査時の着眼点などを学びました。

今後も、効果的な火災予防を推進するために、専門知識の習得に努めてまいります。



【講師による設備概要説明の様子】



【危険物施設内研修の様子】

## その他

### ◆ 人命救助活動功労者に表彰状を贈呈

#### 天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和4年5月18日（水）、消防長から人命救助活動功労者に対し、表彰状を贈呈しました。

本事案は、令和4年3月10日（木）、有人離島の天草市御所浦町横浦島において、栈橋から誤って海に転落した64歳男性を目撃した近隣住民7名が、連携して、119番通報を行うとともに、海から引き上げたあと、意識のない男性に胸骨圧迫を実施し、救急隊に「救命のリレー」をつないだものです。男性は搬送先の病院で治療後、無事に社会復帰されました。

7名の勇気ある的確な行動により、尊い命が救われました。



【表彰状贈呈後の記念撮影 ※1名は都合により欠席】

### ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

#### 可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和4年5月19日（木）、丹羽消防長から消防協力者3名に対して感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年4月7日（木）、管内で発生した建物火災において、近隣住民の3名が連携して119番通報を行い、庭先の家庭用ホースを使用して初期消火を実施したものです。

3名の勇気ある行動により、火災の延焼拡大を防ぎ、被害を最小限に抑えることができました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 深川消防少年団鼓笛隊が3年ぶりに鼓笛演奏を披露

東京消防庁（東京）

東京消防庁深川消防署では、令和4年5月15日（日）、江東区猿江恩賜公園で行われた、江東こどもまつりのパレードで、深川消防少年団鼓笛隊が3年ぶりに鼓笛演奏を披露しました。

同鼓笛隊は、コロナ禍の影響により活動ができない状況が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しながら少しずつ練習を再開しました。今回のパレードへの参加決定に団員の志気も高まっていました。

当日は、3年ぶりとは思えないほどの一体感で、最後まで堂々で行進し、素晴らしい演奏を披露しました。パレードを見ていた保護者や観客から大きな拍手が送られました。

また、同少年団の入団を希望する問い合わせも多数寄せられ、未来の防災の担い手の礎を築くパレードとなりました。



【パレードの様子】

## ◆ 鳥取大火70年の節目に鳥取大火写真展と講演会を開催

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和4年5月15日（日）、戦後最大規模の被害をもたらした鳥取大火70年の節目に鳥取大火写真展と講演会を開催しました。

講演会は約50名が参加し、松江市消防本部職員から、令和3年4月1日（木）に同市で発生した大規模火災について被害分析から見る対応策を解説していただきました。また、講師の鳥取市の手話通訳者は、「手話や筆談で見てわかる情報の大切さ」をテーマに講演し、同じく講師の鳥取県立公文書館専門員は、災害の風化を防ぐため未来に教訓を伝えることが重要と訴える内容の講演を行いました。

防火意識と自助共助が重要であることを再認識するととても良い機会となりました。



【鳥取大火写真展の様子】



【講演会の様子】

## ◆ 消防団協力事業所表示証を交付



【交付後の記念撮影】

### 北秋田市消防本部（秋田）

北秋田市消防本部では、令和4年5月16日（月）、社会福祉法人県北報公会に対して消防団協力事業所表示証を交付しました。

同会は、地域への協力や、職員の多くが消防団員として活動しやすい環境づくりなど、地域の防災体制等に貢献していることから、当消防本部の9事業所目にあたる表示証を交付したものです。

今後も、この事業を活用して、消防団員の加入促進や、地域防災力の強化に努めてまいります。

## ◆ オンライン会議ツールを活用した普通救命講習を開催

### 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部では、令和4年5月17日（火）、オンライン会議ツールを活用した普通救命講習を開催しました。

この講習は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開催を控えていましたが、受講希望者からの強い要望があったため、オンライン会議形式で開催したものです。

当日は、講習内容の意図が伝わるか不安でしたが、受講者から「パソコンの画面を見ながら集中して取り組むことができた。」という感想をいただくことができました。

今後も、地域住民からの要望に対して、この経験を生かして柔軟に対応してまいります。



【配信側の様子】



【Web上の画面】

## ◆ 高校生がデザイン！ 危険物安全週間広報用ポスター

### 姫路市消防局（兵庫）

姫路市消防局では、兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科と連携して危険物安全週間の広報用ポスターを作成し、令和4年5月20日（金）、デザインした高校生に感謝状を贈呈しました。

この事業は、危険物安全週間広報用ポスターを管内の危険物関係事業所へ配布し、危険物に対する保安意識の高揚を呼び掛けることを目的としています。

このポスターのデザインは、火災を起こした危険物取扱作業者の心理を炎の型にしたものです。日頃から陥りがちな作業者の心理が積み重なることで火災となり、火災となってからは「もう遅い」ということを表しています。

また、デザインを強調するため、あえて危険物安全週間と記載せず、二次元コードを読み取ることで危険物安全週間に関する内容を姫路市のホームページで確認できるようにしました。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】



【ポスター】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

（中防消第5号、令和4年5月20日）

中央防災会議会長（内閣総理大臣）岸田 文雄から関係都道府県防災会議会長あてに通知が发出されましたので、お知らせします。

貴殿におかれては、日頃から各般の施策を通じて災害対策の推進に御尽力をいただいているところであり、感謝を申し上げます。

例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、河川の急な増水・氾濫、内水氾濫、がけ崩れ、土石流、地すべり、高潮、高波、竜巻等により、多数の人的被害及び住家被害が発生している。とりわけ近年は、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨など、ほぼ毎年のように大規模風水害が発生しており、昨年も、7月1日からの大雨により発生した静岡県熱海市の土石流災害を始め、全国各地で土砂災害や浸水被害が発生し、多数の者が犠牲となった。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/220520\\_bousai\\_5.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/220520_bousai_5.pdf)) に掲載されています。

◆ 消防本部における職員等のマイナンバーカードの取得の推進について

(消防消第162号、令和4年5月25日)

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部(局)長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

日頃より消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。マイナンバーカードは、対面でもオンラインでも安全・確実な本人確認ができるデジタル社会の基盤となるツールであり、政府全体で、令和4年度末までに、ほぼ全国民に行き渡ることを目指して、その普及促進に取り組んでいます。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/shoukyu0525.pdf>) に掲載されています。

消防庁 消防・救急課 担当： 篠野理事官、松本係長、前田事務官 TEL： 03-5253-7522 E-mail： <a href="mailto:shokuin@soumu.go.jp">shokuin@soumu.go.jp</a>
---

◆ 令和3年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について(通知)

(消防危第113号、令和4年5月26日)

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部(局)長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、「令和3年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、令和3年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/b24505e04c38d99101dda5c42b7f5f8f36aec676.pdf>) に掲載されています。

消防庁危険物保安室 担当： 佐藤、葛西 TEL： 03-5253-7524 (直通) FAX： 03-5253-7534 E-mail： <a href="mailto:fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp">fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp</a>
---

## 報道発表

### ◆ 市区長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」の開催

(令和4年5月23日、消防庁)

災害時には、短期間のうちに膨大な業務に対応・処理することが求められ、市区長はリーダーシップを十分発揮し、的確な災害危機対応を行う必要があります。

そのため、市区長の危機管理意識の一層の向上を図り、市区の災害対応力の向上等につながるよう、全国の市区長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」を開催します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/90c120256e380bc65dac0f7a1b80ab4176fcd6ed.pdf>) に掲載されています。

<連絡・問合せ先>

消防庁国民保護・防災部防災課

鈴木補佐・早勢係長・田村事務官

Tel 03-5253-7525 Fax 03-5253-7535

Mail [bousaikikaku@soumu.go.jp](mailto:bousaikikaku@soumu.go.jp) (取材希望送付先)

### ◆ 「令和3年中の石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要」の公表

(令和4年5月26日、消防庁)

消防庁では、毎年、石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所における事故の概要を取りまとめています。今般、令和3年中の事故概要を取りまとめたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/454b64419c90e3ceddc24189a42ef1ff45727a40.pdf>) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁特殊災害室

担 当 脇坂補佐、高橋係長、灰野事務官

電 話 03-5253-7528 (直通)

FAX 03-5253-7538

### ◆ 「令和3年中の危険物に係る事故の概要」の公表

(令和4年5月26日、消防庁)

令和3年中(1月~12月)の危険物施設における事故の発生状況について、とりまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/95af717506fe8b5a6b79f4800adf6589ab44dfa4.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室

岡田、佐藤、葛西

TEL 03-5253-5111 (代表)

TEL 03-5253-7524 (直通)

FAX 03-5253-7534

◆ **日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関し地震防災上緊急に整備すべき消防用施設（案）に対する意見公募** **（令和4年5月26日、消防庁）**

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行等に伴う告示の制定について、令和4年5月26日から令和4年6月2日までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/220526\\_bousai\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/220526_bousai_1.pdf)) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁防災課 中村対策官、和多田事務官

TEL 03-5253-7525 (直通)

FAX 03-5253-7535

◆ **ウクライナへの物資支援**

**（令和4年5月27日、国際戦略局、消防庁）**

総務省は、国内消防本部、民間団体・企業の協力を得て、消防・救助関連資機材、通信機器の支援物資をウクライナ政府に提供します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/c4cde82e0acdde7b898d86fb994a7fdbbbbd6da9.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先)

国際戦略局国際経済課

担当 岡本補佐、田中係長

TEL : 03-5253-5287

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当 遠藤国際協力官、廣田係長

TEL : 03-5253-7507

◆ **「令和4年度危険物安全週間」の実施及び消防庁長官賞の表彰**

**（令和4年5月27日、消防庁）**

令和4年6月5日（日）から6月11日（土）まで「令和4年度危険物安全週間」を実施し、消防庁長官賞の表彰を行います。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/5da4eea88003210ec719a9bc383648415535b6aa.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室

小川、田部

TEL 03-5253-7524 (直通)

FAX 03-5253-7534

**情報提供****◆ 「第31回全国救急隊員シンポジウム」一般演題の募集**

一般財団法人救急振興財団

第31回全国救急隊員シンポジウム（広島市消防局・救急振興財団共催）の一般演題を下記のとおり募集いたします。

◎ 開催日 令和5年1月26日（木）・27日（金）の2日間

◎ 会場 広島市文化交流会館（広島県広島市中区加古町3-3）

JMSアステールプラザ（広島県広島市中区加古町4番17号）

【募集期間】令和4年5月30日（月）から7月30日（土）正午まで

【応募資格】消防職員を対象とします。

【募集演題】

分類	
救急需要対策	(1) 救急安心センター事業(#7119)に関する事
	(2) 119番通報時や救急現場での緊急度判定に関する事
	(3) 搬送困難事例への対応（頻回利用、精神科等）に関する事
	(4) 一般負傷や疾病の予防等に関する事
	(5) 超高齢社会における救急業務の対策に関する事
	(6) 救急搬送の増大の要因に関する事
	(7) 救急隊員の労務管理に関する事
連携	(8) 関係機関（医療機関、福祉、民間、行政等）との連携（転院搬送含む）に関する事
	(9) メディカルコントロール協議会との連携（救急活動プロトコルの検討等を含む）に関する事
	(10) ドクターカー・ドクターヘリとの連携に関する事
教育	(11) 指導救命士に関する事
	(12) 通信指令（口頭指導、通信指令員の救急に係る教育等を含む）に関する事
	(13) 救急隊員教育（再教育含む）に関する事
活動	(14) 救急活動に関する事（内因性）
	(15) 救急活動に関する事（外因性）
	(16) 救急活動に関する事（妊婦・小児対応）
	(17) 現場活動におけるポンプ隊・救助隊等との連携に関する事
	(18) 処置範囲拡大に関する事
	(19) テロ災害、多数傷病者事故に関する事
	(20) 自然災害、大規模災害に関する事
	(21) 特異症例に関する事（新型コロナウイルス感染症等を含む）
	(22) 救急隊の感染防止対策に関する事
	その他
(24) 調査・研究（統計含む）に関する事	
(25) 救急資器材（ICT含む）に関する事	
(26) 各消防本部における救急業務の工夫した取り組みに関する事	
(27) その他	

【募集演題数】

140演題（予定）

【応募方法】

下記ホームページの「一般演題募集」の「演題登録はこちら」から必要事項を記入し登録してください。

第31回全国救急隊員シンポジウムホームページアドレス「<https://31hiroshima99sympo.com/>」

※ 上記ホームページに掲載の「一般演題募集要項」に同意の上、ご応募ください（要項の条件を満たさないものは選考の対象外となります）。二次元コードからもアクセスいただけます。



《二次元コード》

**【選考について】**

全国救急隊員シンポジウム運営委員会委員長により推薦された、医師及び消防関係者で構成される「査読委員会」において選考を行い、選考結果については、9月下旬頃までに演題登録時に記入するメールアドレスへ電子メールで通知します。

**【その他】**

シンポジウムの開催及び一般演題募集の詳細につきましては、上記ホームページをご参照ください。

**【お問合せ先】**

一般財団法人救急振興財団  
事務局総務部企画調査課  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地  
TEL: 042-675-9931 FAX: 042-675-9050  
MAIL: [sinpo@fasd.or.jp](mailto:sinpo@fasd.or.jp)

**◆ 第1回 医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会の開催について  
NPO法人 NBCR対策推進機構**

NPO法人NBCR対策推進機構は、全国消防長会のご後援を得て、台風、地震、津波等の自然災害と人為的な事故・テロ等が複合した大規模災害対策に資する最新の知見に特化した「第1回医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会ー日常生活に潜む複合災害への災害対策責任者が知っておくべきことー」を次のとおり開催いたします。

- 1 開催日時 2022年7月18日(月・祝日) 09:00~17:00
- 2 受講方法 会場受講(榎エピオスセミナールーム:東京都江東区富岡1-26-15)  
ならびに オンライン受講(Zoom)
- 3 受講対象者 消防職員、医療従事者、歯科医療者他
- 4 受講料 2万円(支払は後日でも可)
- 5 申込方法 NBCR対策推進機構HP(<http://www.nbcr-taisaku.com>)掲載の本講習会案内をご覧の上、担当の阿部([info@nbcr-taisaku.com](mailto:info@nbcr-taisaku.com))あてメールにてお申込みください。
- 6 申込期限 6月24日(金)締切。(但し、受講者合計が30名に満たない場合には延期し、受講申込済み者には個別にその旨をご連絡いたします。)
- 7 プログラム:「第1回 医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会」  
ー日常生活に潜む複合災害への災害対策責任者が知っておくべきことー
 

09:00~09:10	オリエンテーション 井上忠雄(NBCR対策推進機構理事長、元陸上自衛隊化学学校長)
09:10~10:00	1. 災害と医療 長島公之(日本医師会常任理事)
10:00~11:00	2. 災害と歯科医療 柳川忠廣(日本歯科医師会副会長)
11:10~12:00	3. 複合災害と現場の対応 永田高志(自衛隊中央病院救急科部救急室室長)
12:00~12:50	休憩(昼食)

- 12:50～13:40 4. 日常生活に潜む感染症対策  
加來浩器（防衛医科大学校広域感染症疫学・制御研究部門）
- 13:40～14:30 5. 日常生活に潜む放射線防護対策  
富永隆子（量子科学技術開発機構、被ばく医療グループリーダー）
- 14:30～15:30 6. 日常生活に潜む化学災害対策  
箱崎幸也（MEDCK 総合健診クリニック 副院長）
- 15:30～16:30 7. CBRNE 災害時の医療機関の対応  
山口芳裕（杏林大学医学部教授、東京都災害医療コーディネーター）

8 お問い合わせ先

NBCR 対策推進機構事務局：[info@nbc-r-taisaku.com](mailto:info@nbc-r-taisaku.com)（担当：阿部）

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、[kikakoho@fcaj.gr.jp](mailto:kikakoho@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Word で100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Word に貼り付けず、JPEG 画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。